

# 2007 県民意識調査

## 第1次調査集計結果!!

1月から展開しました『2007県民意識調査』は、産別・構成組織組合員の皆さんをはじめ県民の皆さん8,203名の方にご協力いただきました。

今後、集計結果を分析し、第2次調査に反映する予定ですので、引き続きご協力をお願いいたします。

なお、ご協力いただいた枚数は一覧表のとおりです。

(3月22日現在)

依頼先	枚数	回収率(%)
産別	4,025	95.2
地協	1,189	106.2
議員懇	1,537	106.7
関係団体	1,452	64.2
合計	8,203	90.6

## ～政策立案に向けて新たな意見を！～ 政策アドバイザーをご紹介します

連合群馬が、毎年小寺群馬県知事に提出している『政策・制度要求と提言』の立案にあたっては、県民意識調査の分析結果をはじめ、政策フォーラムや学習会、地域からの意見などを集約し、多くの県民の方の意見を反映させています。

そして2003年から、より広範囲にわたる意見をいただくため、外部有識者2名を政策アドバイザーとして参画いただき連携をはかってきました。

今年度は、さらに新たな視点からの意見とアドバイスをいただくため、3名のアドバイザーを選任しました。

### 佐藤 徹 (さとう とおる) 氏

高崎経済大学地域政策学部地域政策学科助教授  
行政改革審議会、市民参加推進会議など自治体の政策アドバイザーを務める。  
地域行政・行政運営などの研究者。

### 眞保智子 (しんぼ さとこ) 氏

高崎健康福祉大学短期大学部情報文化学科講師  
ワークプラン21推進懇談会、キャリアアップ支援事業検討懇談会委員などを務める。経営・人材開発・人的資源管理の研究者。

### 小林睦子 (こばやし むつこ) 氏

フリーアナウンサー  
元FMぐんまのアナウンサーで、現在は話し方マナーを中心に医療系専門学校の講師として学生を指導。

## 連合群馬・愛のカンパ

### 2団体へ贈呈しました

### 愛のカンパの運用方法が変わりました

これまで取り組んできた「連合・愛のカンパ」の集約金は、全国から一度連合本部に集約し、その後各地方連合の推薦団体に本部から助成していました。

今後は、連合群馬として取り組んだ愛のカンパについては、連合群馬内の主体的な判断により、連携のある団体に助成していくこととしました。

なお、産別として取り組んでいる「愛のカンパ」についてはこれまで同様、産別中央経由での推薦要請により本部からの助成として継続することとします。

(2007年1月連合群馬執行委員会にて確認)

### 「連合群馬・愛のカンパ」の運用について

連合群馬と連携・協力関係にある団体等への支援を目的とし、集約したカンパ金は、一旦連合群馬福祉基金に繰り入れた後、執行委員会の確認を経て、上限を20万円として助成することとします。

「連合群馬・愛のカンパ」2006年度の助成団体は「群馬いのちの電話」と「つゆ草」の2団体に決定し、3月13日第5回執行委員会時に、加藤副会長からそれぞれの代表の方へ20万円が贈呈されました。



加藤副会長より贈呈を受ける「いのちの電話」代表者岡田さん

### 〈群馬いのちの電話〉

生きる希望や気力を失い、悩みを抱えている人たちへ電話を通して適切な援助を行なうボランティア活動をしています。元連合加盟組合員も協力しています。

### 〈つゆ草〉

養護学校に通う心身障がい児に、遊びや文化活動を通して、集団活動・社会適応訓練・基礎的な育成指導を行なっています。



贈呈後挨拶される「つゆ草」代表柳井さん  
「浄財は有意義に活用させていただきます」